

認知症の症状と進行のようす



認知症が気になり出したら一度ご相談を！介護サービスの利用を検討してみませんか？

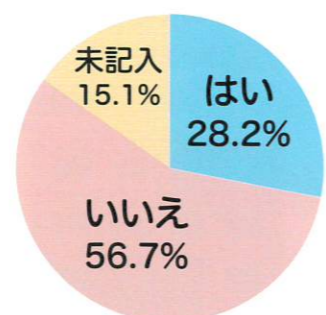
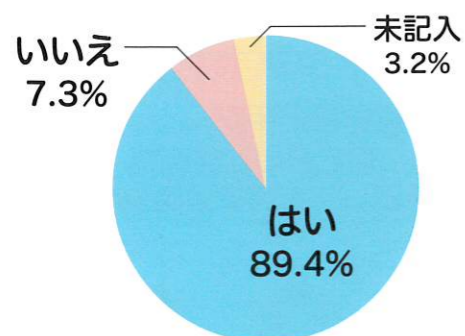
	気づき	軽度	中等度	重度	終末期
症状	物忘れはたまにあるが、日常生活は自立している	物忘れが増えてきたが、日常生活は自立している	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け、介護が必要	常に介護が必要
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> 人、物の名前が思い出せないことが増える 会話の中に「あれ」や「それ」などの代名詞が増える 約束を忘れてしまうことがある 	<ul style="list-style-type: none"> 時間や日にちをよく間違える 同じことを何度も話したり、聞いたりする 食事の段取り、家計の管理などに支障をきたす 	<ul style="list-style-type: none"> 服薬管理ができない 食べたことを忘れてしまう 外出先から一人で戻れなくなることがある 時間や場所がわからなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 家族を認識できなくなってくる 食べ物でないものを口に入れる 食事や入浴など一人でできず介助が必要になる 	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しくなる 表情が乏しくなり、刺激に対する反応が鈍くなる
本人の思い	<ul style="list-style-type: none"> これからどうなるのかわからず不安な時に、周りから「もっとしっかりして」と言われると苦しい 	<ul style="list-style-type: none"> 出来ないことも増えるが、できることも知ってほしい 症状がかなり進んで何もわからない人 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんあることを考えないでほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉では自分の状態を表現できなくても、顔や表情から、快・不快をくみとってほしい 	
ご家族の心構え	<ul style="list-style-type: none"> 何か様子がおかしいと思ったときは、かかりつけ医や地域包括支援センターへ相談しましょう 本人の不安に共感しながら、さりげなく手助けしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> できないことや間違いがあっても、責め 火の不始末や道に迷うなど、思いがけ 考えておきましょう 介護の辛さ、しんどさを一人で抱え 込まないでください 家族のつとめ(にどわらし)に参加し 	<ul style="list-style-type: none"> たり否定しないようにしまし やない事故に備えて、安全対策を まず、身近な人に理解してもら ましょう 	<ul style="list-style-type: none"> どのような終末期を迎えるか、家族の間でよく話し合っておきま しょう 一人で介護を抱え込まないよう に、介護サービスや医療サービスを 活用しましょう 	<p>人によって症状の現れ方は様々です</p>

みんなで学ぼう認知症

認知症サポーター養成講座

住み慣れたまちで暮らしたい

認知症について理解しているか



大和郡山市「65歳からの元気度チェック」(平成27年3月)

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすには、周りの人の理解や見守りが大切です。一人でも多くの人に、認知症について理解してもらうための講座です。みんなで認知症について学びませんか？講座修了にお渡しするオレンジリングは、認知症サポーターの証です。



〈サポーター養成講座の様子〉



〈認知症サポーター養成講座(無料出前講座)〉

対象：大和郡山市民 5人以上
 日時：平日の午前9時～午後5時
 ※事業の都合などにより、ご希望に添えない場合があります
 内容：認知症の基礎知識、対応方法など90分程度
 場所：地域の集会所など

〈認知症の人の介護を経験された家族の方からの一言〉

ご近所の方のあたたかい見守りと情報、とても助かりました。

近隣で助け合いの班を決め、ゴミ出しなど手伝っている。

徘徊している所を通学中の学生さんが声かけし、対応してくれました。

